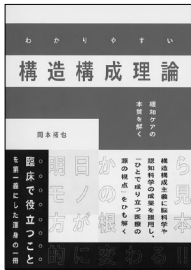


編集部に届いた本

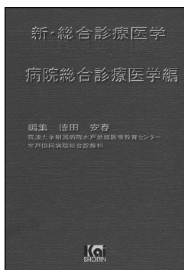
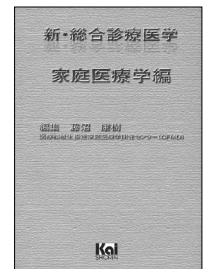


『わかりやすい構造構成理論
緩和ケアの本質を解く』
岡本拓也(著)
定価(本体 2,200 円 + 税)
青海社
Tel : 03-5832-6171

医療者の間でも関心が高まりつつある「構造構成主義」をわかりやすく解説しながら、日々の臨床で読者が遭遇する状況を、どう捉え、乗り越えていくかの基本モデルを示す。とくに、患者・家族-医療者間、そして医療者同士の問題の解決において、ともに創造する作業(構造構成)の重要性を指摘する。著者は病院でホスピス長を務める緩和ケア医。

ジェネラリストをめざす医学生・研修医向けテキストの「家庭医療学編」。イントロダクションには、藤沼康樹氏の筆による「家庭医のここが知りたい」「家庭医療の十四景」「家庭医療のプリンシプル」など、家庭医療をこれから学ぼうとする人たちへの温かいメッセージが配されており、家庭医療の基本知識を伝えると同時に、その魅力も伝える内容となっている。

『新・総合診療医学
家庭医療学編』
藤沼康樹(編)
定価(本体 5,000 円 + 税)
カイ書林
Tel : 03-5685-5802



『新・総合診療医学
病院総合診療医学編』
徳田安春(編)
定価(本体 5,000 円 + 税)
カイ書林
Tel : 03-5685-5802

ジェネラリストをめざす医学生・研修医向けテキストの「病院総合診療医学編」。診断学、治療学の項目のみならず、臨床推論、疾患疫学、感染予防などの総論的項目も含む、すべてのチャプターにケースを配置した、いわゆる「教科書」的ではない、実践的教科書。徹底的にケース・ベースドにこだわった本のつくりが大きな特徴となっている。

米国における家庭医療学の教科書として「定番」となっている「CURRENT Diagnosis & Treatment in Family Medicine」第3版の日本語版。家庭医療の教科書らしく、「乳児・小児」「青年期」「成人」「老年期」と人の成長段階に合わせて、章立てがなされている。最新のエビデンスを踏まえた疫学、診断、治療を詳述している。

『家庭医療の技術 ファミリーフィジシャン養成講座』
ジャネット・サウス・ポール, 他
(著), 伴信太郎(監訳)
定価(本体 9,500 円 + 税)
日経 BP 社
Tel : 03-5696-1111

